

マネジメンツファッションの普及プロセス

— 「健康経営」の事例研究 —

武庫川女子大学 経営学部設置準備室 教授

高橋 千枝子

要約

マネジメンツファッションとは流行性を持った経営手法のことである。経営手法は服飾ファッションの流行のように模倣によって普及する場合もあれば、制度や法律など制度的圧力によって普及する場合もある。本研究では近年注目されている「健康経営」に焦点をあてて、経営手法の供給側と需要側の両面から、テキストマイニング分析などを用いて普及プロセスを考察した。健康経営は普及プロセスにおいて訴求内容を変容させながら進化しており、その過程ではマス雑誌やマネジメント誌が大きな役割を果たしている。また健康経営は流行として普及し始めたが、行政主導の制度が更なる普及の後押しになった。その後、生産性向上や働き改革としての健康経営が訴求されたが、需要側は制度的圧力にとらわれ続け、制度導入が目的化している可能性がある。

キーワード

マネジメンツファッション, 流行プロセス, 健康経営, 制度的圧力, テキストマイニング

I. 経営手法の普及プロセス

マネジメンツファッション (Management Fashion, 以下 MF) とは流行性を持った経営手法のことである。経営手法は服飾ファッションの流行のように模倣によって普及する場合もあれば、制度や法律など制度的圧力によって普及する場合もある。

Abrahamson and Fombrun (1994) は、高名な組織が最初に新たな経営手法を採用し、高名ではない組織が高名な組織を模倣する為とその経営手法を採用し、高名な組織は下位組織と差別化する為に更に新しい経営手法を採用する Trickle-down process を提唱している。一方、Meyer and Rowan (1977) は、経営手法は制度的圧力によって組織に普及する新制度派組織理論を提唱しており、法律や制度などの圧力によって経営手法は儀礼的に導入されるとしている。制度的圧力によって普及する経営手法として、ISO14001 や ISO9000 などの国際規格があげられる。

II. 健康経営と分析アプローチ

1. 経営手法としての健康経営

健康経営®とは、従業員の健康を重視する経営スタイルであり、人材不足や労務管理リスクなどを社会背景に近年注目されている。また健康経営は行政主導の選定・認定制度としての特徴もあり、2015年より「健康経営銘柄」選定制度および2017年より「健康経営優良法人」認定制度が開始されている。健康経営は流行性のある経営手法の側面と、制度的な経営手法の側面の両方を兼ね備えている特異な経営手法である。本研究では健康経営の普及プロセスを考察する。

2. 分析アプローチ

経営手法を訴求する供給側と経営手法を導入する需要側との両面から考察する。供給側の分析データとして健康経営を検索語として抽出された書籍・記事・論文のタイトルを用い、媒体分類別分析およびテキストマイニング分析を行った。需要側の分析データとして Google Trends の検索回数推移および関連・急増キーワードを用いた。

III. 考察

事例分析より健康経営の普及プロセスについて、次の発見事実が得られた。

健康経営は普及プロセス各期において訴求する内容が変容している。プレブーム期は産業保健テーマとして訴求した為、経営手法として注目されなかった。その後、経営テーマとして訴求され認知が高まり、行政主導の制度によってブームが生まれた。その後、生産性向上や働き方改革と関連付けて発信されている。普及の担い手としてマス雑誌と特定マネジメントグルの役割が大きい。

またMFの供給側と需要側の関心に乖離があった。供給側は近年健康経営を生産性向上や働き方改革と関連したものとして発信しているが、需要側(検索側)は依然変わらずに本制度(制度取得等)への関心が中心である。

新たな経営手法を普及させる上で、マス雑誌とマネジメントグルの存在は大きく、行政主導の制度は大きな後押しとなることが明らかになった。しかしともすれば制度導入が目的化してしまい、合理的な経営の進歩にはつながらないリスクがある。

主要引用文献

- Abrahamson, E. (1991). Managerial fads and fashions: The diffusion and rejection of innovations, *Academy of management review*, 16(3), 586-612.
- Abrahamson, E. (1996). Management fashion, *Academy of management review*, 21(1), 254-285.
- Abrahamson, E., and Fairchild, G. (1999). Management fashion: Lifecycles, triggers, and collective learning processes, *Administrative science quarterly*, 44(4), 708-740.
- Abrahamson, E., and Fombrun, C. J. (1994). Macrocultures: Determinants and consequences, *Academy of Management Review*, 19(4), 728-755.
- Meyer, J. W., and Rowan, B. (1977). Institutionalized organizations: Formal structure as myth and ceremony, *American journal of sociology*, 83(2), 340-363.